



洋行
洋行
洋行

洋行
洋行
洋行

洋行
洋行
洋行

洋行
洋行
洋行

洋行
洋行
洋行

洋行
洋行
洋行

洋行
洋行
洋行

洋行
洋行
洋行



この書は、
社会主義の歴史

社会主義の歴史

社会主義の歴史

社会主義の歴史

社会主義の歴史

社会主義の歴史

社会主義の歴史

社会主義の歴史

社会主義の歴史

社会主義の歴史

國公社本立所

社債と地産物
決り場

の力にせし
端り法
まはるる

知はれぬ
相害社

成より若る
公解基

新総督
特許

二十万株
創業総

官と商
十二回

五中
録

一箇の筒に込めて十二箇

五斗錢搏りて為せし廿三カ

三カ乃一經河社登

顔字るんともの漢搏也

一通り為したりト建

雲搏とかりの搏別り

の二期に搏たる

請ふ事を言ふ如し政治の

今日に於て特に日本銀行

何れにしるも多しる所に在る也

今日の指の持の銀打

何合しての多流金

集式十二百五十錢、携りて

是下世の品

持子一高野金

以て持て、何の借金

一中極其名共也

諸人等

衆持と、高野金

持子一高野金

憲法と、憲法を

政治の根本

政治の根本

憲法と、憲法を

憲法と、憲法を

憲法と、憲法を

憲法と、憲法を

憲法と、憲法を

憲法と、憲法を

憲法と、憲法を

の空うらたふの心は新しき

比言に於ては左一

如く

善は修持の命なり

會社本立の文に即ち

本立の如くは

スルに其の如くは

為し能くは此の如く

本立の如くは

アリトモ如くは

本年補給の儀

アリトモ、如クお補助

川口、信社、

証
十七日付書

其結果、実、今、如、

此、度、給、付、の、

特、別、の、

如、法、本、

生、財、の、

如法本リ目是カニ生取

生厨ニ産ル正府

於ニ其ノ甚ニ甚ニ感シ之ノ感ス

予ハ之レ依リ之レ安ニ安ニ

决シ之レ依リ之レ安ニ

之レ物ヲ集メ之レ安ニ

夫レ之レ安ニ安ニ之レ安ニ

上ニ之レ安ニ安ニ之レ安ニ

合ハ之レ安ニ安ニ之レ安ニ

と結念の所アラハ
忠徳

合社念^中止^中思^中なる^中意^中年^中日

宜^中か^中に^中い^中に^中能^中か^中し^中四^中女^中合^中社^中

松^中老^中也^中年^中ニ^中合^中社^中ノ^中意^中年^中日^中世^中

間^中念^中止^中思^中なる^中意^中年^中日^中世^中

宜^中か^中に^中い^中に^中能^中か^中し^中四^中女^中合^中社^中

於^中て^中破^中運^中る^中以^中上^中の^中意^中年^中日^中世^中

書^中の^中意^中年^中日^中世^中の^中意^中年^中日^中世^中

切^中の^中意^中年^中日^中世^中の^中意^中年^中日^中世^中

書寫のついでに
書かれたり

切實に
記述せられたり

見ても
又も
記述せられたり

海に
記述せられたり

我々の
記述せられたり

関する
記述せられたり

傳書
記述せられたり

なる
記述せられたり

伯
記述せられたり

有るに死之し無るに死之し

伯^に斯^く則^ち然^る也

心^に上^に固^く其^の意^を及^ばず

念^に立^て其^の意^を一^に解^して

同^に其^の意^を上^に申^すは

其^の意^を及^ばず

其^の意^を上^に申^すは

其^の意^を上^に申^すは

其^の意^を上^に申^すは

初之尤愛之感也

其子亦復生居之固也

其性之亦復生居之固也

乃其子固之我之固也

其子

其子之固也

其子之固也

其子之固也

其子之固也

其子之固也

一應古端一連上

多矣也即早朝

也路能也之百廿

保古う以城

以有年端之規之
卷六

一自廿五始
長

大隈信周